

ダンススポーツ

春 夏 秋 冬

No. 108

東京都ダンススポーツ連盟広報誌

2022年、 会員の皆さまへ

東京都ダンススポーツ連盟

会長 篠田 龍佑



明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

全世界に猛威を振るった新型コロナウイルス感染症は未だ予断を許さない状況にあり、私たちの日常や経済活動に深刻な影響を及ぼしております。

しかしながら、ワクチン接種や治療薬の普及など人類の叡知によって「With コロナ」へと人々の意識が移行しつつ、一歩ずつ着実に良い方向へ進んでいるように感じます。

私共は今後への備えとともに、引き続きJDSFによる感染防止対策開催ガイドラインに沿ってダンスの活動に取り組んでまいりたいと考えています。

最後になりますが、年頭にあたり皆様のご健勝とご多幸を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



※ 2021年都連主催の大会から

※ 2021年の東京都関連のダンススポーツ大会は年間40回予定されていましたが、このうち、前期(1月～6月)の19回のうち開催中止は17回(89%)、後期(7月～12月)21回中では13回(62%)が開催中止のやむなきに至りました。また、2月開催が予定されていた東京都シニア・コミュニティ交流大会「TOKYO縁(エン)ジョイ!」は2021年、2022年とも中止となりました。

4月4日(日)
駒沢オリンピック公園
総合運動場 体育館

A・B・C・D・1・2・3・全日本選手権シニアⅡ
・プレジュニア・プレジュブナイル・プレジュブナイル(メレンゲ・サルサ)

2021年に開催された
★ 主な大会から

第12回 ダンススポーツフェスティバル(DSF) in 東京 第14回 東京都プレジュニアダンススポーツ大会

JDSF A級
スタンダード



優勝 佐藤 祐馬・久保田 理沙組
(東京都 DSC)

東京都主催の大会出場は約1年ぶりということもあって最初は緊張していましたが、多くの皆様から応援をいただき楽しく踊ることができました。声援を送れない中、拍手などで応援して下さった皆様、本当にありがとうございます！また、このコロナ禍の大変な中で本大会を開催いただいた関係者の皆様や、運営いただいた役員・スタッフの皆様にも心から御礼申し上げます。この1年、試合もなかなか調整の難しい期間となりましたが、海外コーチにオンラインでレッスンを受けたりとこれまでできなかったことにもチャレンジしながら、自分たちの踊りをゆっくり見直してきました。今年は新しい佐藤・久保田組の踊りを皆様にお見せしていきたいと思っておりますので、今後ともご声援のほどよろしくお願いたします！

JDSF A級
ラテン



優勝 魚島 滉太・杉原 彩波組
(協賛教室)

東京都DS連盟の皆様、まずはこのような状況の中、大会を開催して下さりありがとうございました。私たちは2020年7月にカップルを結成し、2回目の大会出場でしたので、優勝と聞いたときは非常に嬉しく、また信じられない気持ちもありました。しかし、まだまだ目標は先にあるので、今回の嬉しさもモチベーションに変え、次の大会へ向けて練習を続けています。いつもご指導頂くコーチ、応援して下さる方々の為にも、また次のステージで結果が残せるよう精進して参ります。引き続き、応援のほどよろしくお願致します！

JDSF 全日本選手権
シニアスタンダード



プレジュニアスタンダードラテン
(S)JDSF B級スタンダードラテン

優勝 ホワイトン 謙心
・ホワイトン 夏奈実組
(ブルボンDST)

コロナ禍の中で大会を開催して下さった主催者、役員の方々、コーチ、親、応援して下さった皆様、ありがとうございました。今年はジュニア最後の年だったので、ジュニア戦で優勝できて嬉しかったです。今回は初めて級戦に出場したので緊張の気持ちでいっぱいでしたが、皆様の応援もあり、なんとか優勝することができました。これからいろいろな大会に出場して優勝できるようにがんばりますので、私達を見かけたら是非応援を宜しくお願いします。

JDSF 全日本選手権
シニアIIラテン



優勝 松本 武士
・宮西 朋代組
(京都府)

一年以上競技会に出場できずに思った事は「私達は本当にダンスが好き」と言う事でした。また踊れる日を信じて練習に励み、今回の結果を頂けた事は大変嬉しく思います。運営の皆様のご感染対策により安心して踊れた事に感謝し、私達も自家用車で移動し、4層サージカルマスクを着用して万全の状態での競技に挑みました。まだまだ厳しい状態が続くようですが、また以前の様にダンス仲間と楽しく過ごせる日を楽しみにしています。

11月6日(土)
駒沢オリンピック公園
総合運動場 体育館

ダンススポーツフェスティバル(DSF) in 東京2021 東京都スポーツ文化事業団理事長杯争奪戦 第41回 三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権大会選抜戦 最終選考会

B・C・D・1・2・3
選考会

東京都スポーツ文化事業団理事長杯争奪戦
B級戦 スタンダード



優勝 福田 雅之・土信田 由紀子組
(東京都直轄)

東京都スポーツ文化事業団理事長杯争奪戦
B級戦 ラテン



優勝 遠藤 顕広・高橋 奈津美組
(東京都)



荒川区

荒川区DS連盟の願い

繊維街で有名な日暮里。ダンス衣装華やかなお店や「新世紀」、かつての「ファーストプレイス東京」などでもお馴染みの、とても身近にダンスを感じるところです。

連盟の活動は、金曜のカップル練習とシャドー。土曜の練習会+技術向上にプロを招いた講習会が中心。練習では厳しくも熱心なご指導。ビギナーから始めたメンバーも多く、出来なくて落ち込むこともあります。「上手になってきているから頑張る」という温かい励ましで競い合うようにみならずうまくなっています。新型コロナ下で制限のあるなかではあっても精一杯感染防止に注意しながら活動を続けてきました。

コロナ禍による公共施設での使用ができないことも多くなっています。ただ小粒でもダンス好きが集まった連盟だけに、プロの先生のスタジオに会場を移しての講習などを実施、講習会以上に身近なご指導を幸せに感じています。



2021年荒川区DS大会A級st決勝戦

私たちは2019年10月4日に念願の荒川区DS大会を主催することができました。その事前準備もかね、私も三笠宮杯のサポートに初参加。まだ大会開催の大変さはわからないながらお手伝いさせていただきました。区連主催大会では朝からシート張り、掲示板準備と皆さんダンスへの情熱をもって大変な準備に向かわれる姿を素晴らしいと感じ、私も足手まといにならないようにてきぱきと働くよう心がけました。身近でみる出場された方々の素晴らしいダンスに魅了され、心の底から上手になりたいと思いました。役員や携わった方々のご尽力で無事成功でき本当に良かったです。

お陰さまで待望の第2回荒川区DS大会も11月23日に実施が叶いました。大先輩の方々からみればまだよちよち歩きの連盟かもしれませんが、どうかこれからも荒川DS連盟が発展していけるようよろしくご指導お願いいたします。

荒川区ダンススポーツ連盟
御山 妙子

町田市

新型コロナ下でもダンスを忘れない

加盟団体の皆さん、昨年来の新型コロナ禍の中、如何お過ごしでしょうか。

町田市には、市立体育館の「社交ダンスの開放利用」という素晴らしい制度あります。この制度は、ダンス連盟が毎月会場予約をするのではなく、市が健康増進のため他のスポーツ種目でも練習会場を無償で提供してくれるものです。町田市民はもとより近隣の県・他市の競技選手・社交ダンスの愛好家が低料金で自由に練習でき、その実働は2つの市立体育館で年間計約300日にも及びます。

しかしながら2020年3月からの新型コロナ禍に於いては、ソーシャルディスタンス確保が困難な社交ダンスは感染の危険度が高いと見なされ、柔道・合気道等と共に21年3月まで体育館側から「開放利用」は中止されていました。一方では、各地区連盟・PD主催の競技会が徐々に実施されるようになってはきましたが、普段の練習が出来ないため、多くの競技選手が競技会への申込をためらう状況が続いておりました。



そこで、私たち連盟では、体育館側・市の担当部署に対し、JDSFや当連盟独自に定めた厳しいガイドラインを守って利用する旨を伝え、柔道等他の密着種目との相違を説明し、コロナ感染の危険性がいかに少なく練習が行えるかを理解していただきましたところ、21年4月から「開放利用」が再開されることになりました。

そんな喜びもつかの間、4月末からの第3次緊急事態宣言の発出です。再度「開放利用」も中止となり、練習もままならない状況が続きましたが、6月20日に緊急事態宣言が解除され、1回当りの時間は多少短縮されてはいるもの、「開放利用」が再開されはじまっているところです。

今後は、ワクチン接種もハイペースで進み、感染の危険が少なくなることを期待しております。早くコロナ感染症が収束し、以前のように何の制約もなく自由に練習・競技会・パーティーに参加出来る様になることを祈っています。

今回の折衝で、ダンススポーツの実情を理解していただけたことは、コロナ禍の中での大きな成果とっております。

町田市ダンススポーツ連盟盟
副理事長 小巻 幸雄

かがやいていますね

第12回ダンススポーツフェスティバル(DSF)in東京
上遠野 治・大庭 一枝(渋谷区DS連盟)

私達は渋谷区ダンススポーツ連盟を通して練習会後のダンス談議に華をさかせていた仲間です。様々な事を乗り越え昨年カップルとして競技会に挑戦する事を決めました。

コロナ禍で練習不足ですが出場できて良かったです。ダンス愛好者も増やしたいと考えています。今後色々な想いを輝く踊りにしたいと思います。

東京城北ブロック

安心して踊れる日待つ

城北ブロック文京区ダンススポーツ連盟から報告させていただきます。
2020年、文京区は緊急事態宣言時でもライン等を使って連絡調整、情報交換が行われリモート練習も試行しました。できることは何でも実行しました。一方、城北ブロック内でもリモート会談を行う等、連絡を取り合ってきました。

同じく2021年も文京区では以前より対面が増えましたが、緊急事態宣言、重点措置によって引き続き施設が使えず、或いは時間制限され或いは参加者が少なかったりすることもあって練習が十分出来ません。対面の練習が出来るときは、3密を避け、会話するときはマスクをし、手の消毒をして万全を期しているのですが……勿論、会食はありません。シャドーの練習も増えました。一方でDVDやユーチューブを見る機会も増えました。これらを見る程に、やはり対面は楽しいとの思いを新たにしています。

最近、「スニーカーの底が減っているが、ダンスシューズの底は減らない」と聞きます。踊れない分は散歩やジョギングをしているからでしょうか。残念です。

幸いにも、城北ブロック内では昨秋に荒川区、北区での競技会が開催できました。その後、オミクロン株の大流行でダンスには再再度の強い向かい風が吹いていますが、今後ワクチン接種の成果により新型コロナ感染が収束し、3密等の制限なく、マスク無しで主催者、スタッフが対応することが出来、そして何となく選手が安心して出場出来るような競技会が復活できるよう、祈るばかりです。

文京区ダンススポーツ連盟 理事長 石川 芳男

多摩南ブロック

ダンススポーツへの願い

多摩市は多摩ニュータウンの中核に位置し、人口約15万人を有しています。かつては若者の街として活気を浴びていましたが、今や高齢化が進み落ち着いた街に変わってきました。そんななか、ボランティア活動やスポーツ活動に携わる高齢者が多いことが特徴で、行政は「健康で幸せな健康都市」を目指しています。



多摩市ダンススポーツ連盟は、東京多摩南ブロックに所属し、持ち回りで「多摩南ブロック交流ダンスの集い」「多摩南ブロック競技大会」等の行事を通して、相互の交流親睦、技術向上を図っています。当連盟は2021年に創立30周年を迎え、所属加盟サークルは10、会員数は約60名、登録競技選手は40名で、高齢化の影響で年々の減少傾向が避けられない現状です。

昨年来のコロナ禍の影響で、予定した諸イベントが実施出来ず、多くの活動に支障をきたしています。例年ならば秋の恒例行事として、各加盟サークル参加の「多摩市ダンスサークル祭りの集い」が華やかに開催されますが、この2年中止をやむなくされ一刻も早く実現出来る様願っています。ダンススポーツは老若男女、年齢問わず楽しめるので、ダンススポーツ愛好者が増えるよう更に普及活動に努めたいと思います。

多摩市ダンススポーツ連盟 会長 日比野 博義

子供たちの未来に翼を

東京都ダンススポーツ連盟 ジュニア育成部 篠田 沙代子



東京都ダンススポーツ連盟では、世界のAI化に伴い人と人の触れ合いが希薄になってゆく世の中で、未就学児童に核となる親子の絆や、友達、そして学校や地域社会において必要不可欠であるコミュニケーションの力や、必要な基礎体力、考える力を養うための基礎学力などダンスを通じて身につけてもらえるように貢献しようという考えに基づき、「キッズ スタディ&ダンスラボ」を2018年から開催してきました。

私はダンスから多くのことを学んでまいりました。それはダンスのテクニックだけではなく、人と人とが協力し合うこと、そして作り上げる喜びなどは、AIだけでは無い得ない人間としての営みではないのでしょうか？

私達ダンス愛好者がダンスを通じて、若い世代に残して



ゆきたい貴重なものは、人を信じられる豊かな心と生き残って行ける基礎体力だと思います。

これからの社会に子どもたちがたくましく、健やかに羽ばたいて行けるようにそれぞれの地域の皆さまに是非お力を貸して頂きたいと思っております。年齢を問わず、ダンス関係者以外の方でも未就学児童の親子の方達にダンスと英語を媒体として、楽しい時間をすごしてもらえらることを趣旨としてこの活動にご協力戴ければ幸いです。

動にご協力戴ければ幸いです。

については、各区市の地域活動として開催していただく前に、実際に新宿区で開催されている様子などを紹介させていただいて、進め方などの詳細についてもお話しさせていただきますし、出張して一緒に開催してゆくうちに慣れてきたら、個々に「キッズ スタディ&ダンスラボ」を主催して頂ければ幸いです。

こちらからの派遣は2名で、1回の開催時間を正味40分程度にしています。

人数がスペースに対して多い場合には、年齢層によって(3～5歳児、6～7歳児)とクラス分けすることもあります。現在は1クラス15～20名程度、その場での消毒と検温を行い、換気に気をつけて行なっています。講師費用として¥5000を考慮して頂ければ幸いです。

是非、地域の皆様にご協力頂きますよう宜しくお願い致します。



会員の皆さまへのお詫び

新型コロナ禍の影響をうけ、2020年2021年と主要競技会・イベントなどが中止に至りました。これに伴い、会員の皆さまの情報共有ツールとなってきました会報誌「春夏秋冬」が滞ってしまいお詫びいたします。

併せて今後の誌面作成にも、ご意見ご協力をいただきたくお願いいたします。どうかよろしくお力をお貸しください。 広報部長 佐藤 暁之

JDSF 東京掲示板

- 3/12 ⊕ 東京都ダンススポーツ大会 in 日野
場所：日野市市民の森 ふれあいホール
- 4/2 ⊕ 第13回ダンススポーツフェスティバル in 東京 / 第15回東京都プレジュニアDS大会
場所：駒沢オリンピック公園 体育館
- 4/3 ⊕ 第14回ダンススポーツフェスティバル in 東京・第6回ティーチャー&スチューデント競技会
場所：駒沢オリンピック公園 体育館

- 5/1 ⊕ 東京都ダンススポーツ連盟創立45周年祝賀式
場所：京王プラザホテル5階 コンコルドボールルーム
- 5/29 ⊕ 第75回都民体育大会春季大会 正式競技「ダンススポーツ」・第75回東京都民ダンススポーツ大会
場所：駒沢オリンピック公園 体育館
- 7/17 ⊕ 第15回ダンススポーツフェスティバル in 東京
場所：駒沢オリンピック公園 体育館
- 9/4 ⊕ 令和4年度 都民生涯スポーツ大会
場所：駒沢オリンピック公園 体育館

発行 2022年2月1日
発行人 日吉 俊彦 (理事長)
編集人 佐藤 暁之 (広報部長)
企画 広報部

発行所 東京都ダンススポーツ連盟
住所 〒161-0031 東京都新宿区西落合1-28-14 榊原ビル1F
TEL 03 (6908) 3412 FAX 03 (6908) 3420
HP <http://tokyo-jdsf.org> (「春夏秋冬」バックナンバー掲載)